

みやけの風

第 176 号

平成 16 年(2004年) 6 月 5 日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター 気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

先週の日曜日は、子供の小学校の運動会でした。暑かったのなんのって、ひどく日焼けしてしまいました。一生懸命走る1年生のかわいいこと。上級生の組み体操は運動会の華でした。地域の人もたくさん参加している様子に、島での運動会を懐かしく思い出しました。子供は地域の財産ですね。

みんなの声

今年の島じまん

今年の島じまは、5月29日、30日と真夏を思わせる暑い日に、竹芝ふ頭公園で開催され、三宅村商工会女性部は例年どおり、「あしたばの蒸しパン」と「あしたばのかき揚げ」で参加いたしました。

各島の自慢の特産品や伝統芸能が披露され、ピュッフェガーデンでは、腕じまんのお弁当、伊勢エビのみそ汁、島ずし等盛りだくさん！

我らがブースは大好評を博し、長蛇の列ができ、本部より時間を切って販売するようにお叱りをいただいた程でした。作業場は蒸し器と天ぷら鍋の暑さで浴びるような汗、汗、汗・・・その様な中で、お客様に喜んでいただけたということで、部員同士の気持ちもひとつとなり、疲れはしたものの充実した楽しい2日間でした。

また、なつかしい木遣太鼓が聞こえると・・・、思わず仕事の手を休め、いっしょに「ワッショイ！ワッショイ！」とかけ声を掛けながら、未だ帰ることのできない故郷を思い出し、涙ぐんでしまいました。

次回の島じまは・・・、「三宅島からの参加だぞ～～～」と！

(三宅村商工会女性部部長 田中 悠紀子)

大崎さんの桜島訪問記

火山の島から その3

お送りしております大崎さんの桜島訪問記も、いよいよ残すところ後2回となりました。火山の島、

桜島で農業を続ける方々と大崎さんのやりとり。

みなさんは、どのようにお読みになりますか？

(みやけの風編集担当)

前号より続く

ところで、噴火はどのくらいあるんですか？と聞くと、「去年は29回だった」と答えてくれます。そんなにあっただんですか！と私が驚くと、「ずい分おさまったんだよ。3、4年前までは、年間百数十回だったんだから」と答えてくれます。

3日に一度は噴火していたということですか！（インターネットで調べると、1955～2000年の45年間で、爆発回数約7,600回。年平均169回。これでは2日に1度と言ったほうがいいでしょう。）

そんな状態が何十年も続いて、よく島を放棄しなかったですね、と他人事みたいに私が言うと、「ここは私たちの島だから」

農業は自然災害の影響をまろに受けるけど、他の仕事とか、出稼ぎとかどうだったんですか？と聞くと、「今は建設業とか鹿児島市内とか、いろんな仕事があるけれど、昔はあまりなかったんだ。先祖からの土地で農業でなんとかやっていくしかなかったんだよ。だけど、今は島を出る若者が多くて、高齢化が進んでいる」

ああ！高齢化！過疎化！

桜島もまた、将来への同じ不安をかかえていました。

次号へ続く

(東久留米市 大崎 興洋)

三宅村在宅介護支援センターより**介護者教室のご案内**

今年度は、偶数月は各三宅村支援センターで、奇数月は支援センターのない地域での開催を予定しています。(翌月にずれ込むこともあり)

5月は、港区港南、足立区入谷、大田区仲六郷、練馬区中村の4カ所で開催し、介護保険制度についてお話ししました。

参加者は45名、聞いてよかったな～という感想をいただいております。今後は介護予防(痴呆予防・転倒予防)について、また、昨年度好評だった、『ストレス解消法としてのアロマセラピー』も取り上げる予定です。毎月末に、翌月の予定を『みやけの風』誌上で紹介していきますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

6月の日程

内 容:「介護保険活用読本の解説」

時 間:各会場とも 13:30~15:00

- | | |
|------------|-----------------------|
| 6 / 3 (木) | 葛飾区高砂団地 第5集会室 |
| 6 / 16 (水) | 江東区東砂2丁目アパート 栗原日出一さん宅 |
| 6 / 21 (月) | 三宅村桐ヶ丘高齢者支援センター |
| 6 / 22 (火) | 三宅村東久留米高齢者支援センター |
| 6 / 23 (水) | 三宅村南大沢高齢者支援センター |
| 6 / 24 (木) | 三宅村武蔵村山高齢者支援センター |
| 6 / 25 (金) | 三宅村小松川高齢者支援センター |

*なお、東久留米・武蔵村山をのぞき、各会場とも介護教室終了後、引き続いて三宅村役場生活相談窓口による『ミニ懇談会』の開催が予定されています。あわせてご参加ください。

お問合せ:三宅村在宅介護支援センター(担当:北村) 03-3459-8389

三宅島社会福祉協議会より**「気をつけて行ってきて下さい!滞在型帰島」**

4月より、滞在型帰島に参加される方がたいへん増えています。東京に戻ってからどっと疲れが出る方も多く、これからだんだんと蒸し暑く体力を消耗する季節になってきますので注意が必要です。お身体が何よりも大切です。ご近所の人たちと、お互い、気をつけあって参加しましょう。

水分補給を十分に。

高齢になると身体に水分が不足しても充分自覚できないことがあります。熱中症や脳こうそくの予防のため、意識してこまめに水分を取ることを心がけてください。高血圧の方は特に注意が必要です。

持病の薬は多めに持っていきましょう。

船の欠航など万が一にそなえ、多めに持っていくことをお勧めします。

無理をしない。

4年近い都会暮らしのため、自分で思っている以上に体力が落ちているかもしれません。宿舎などでの団体行動も、疲れの原因になります。思わぬケガをしないために、日中の作業は十分な休けいを取りながら行いましょう。